

令和6年3月18日  
高齢施策担当部高齢者支援課

## 地域包括支援センターに関するアンケート 結果概要

地域包括支援センターの事業評価にあたり、外部からの評価を受けることで運営に対するより適正な評価を受けることを目的として、区内の介護支援専門員を対象にアンケート調査を実施した。その結果について、以下のとおり報告する。

### 1 結果概要

(1) 実施期間

令和5年9月1日（金）から12月6日（水）

(2) 対象者

以下の区内介護サービス事業所に在職する介護支援専門員

居宅介護支援、特定施設入居者生活介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護

(3) アンケート配布数

387 事業所 803 枚

(4) 配布方法

メールおよびFAXにて送付

(5) 回答方法

匿名にてLoGoフォームによる回答

LoGoフォームでの回答が難しい場合は、メール・FAX・郵送のいずれかで回答

(6) 回収率

38.9%（312枚） ※令和4年度回収率 65.4%（481枚）

(7) 主な調査項目

①基本情報

性別、年齢区分、事業所圏域、サービス種別、経験年数等

②センターと介護支援専門員との連携状況

センターの利用状況、相談の有無、満足度、センターに充実が望まれる業務等

③地域ケア会議について

参加状況、必要な機能等

④医療と介護の相談窓口について

認知度、利用の有無等

## 2 主な意見と区の方

主な意見	区の方
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの拒否がある家庭や、精神疾患によりサービスの理解が困難な方など、対応に困ったときに一緒に考え、助言や同行をしてもらった。</li> <li>・介護保険申請や更新時に必要な書類、ケアプランの作成方法について教えてもらっている。サービス利用に至らなかった場合にも他の福祉サービスを入れるなど、柔軟な対応をしてもらった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターは、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務として、高齢者が必要なサービスを受けられるよう地域のケアマネジャーへの助言、支援、関係機関との連携を行う。今後も様々な機関と連携、協力し、高齢者を支える地域づくりを進めていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防支援の委託では、契約やケアプラン交付など、一連の事務作業も多く、包括へ何度も足を運ばなくてはならない。時間がとられてしまうため、簡素化したり、省略できることはないか。任せてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年4月から、介護保険法の改正等により、介護予防支援の指定対象の拡大がされる予定である。地域包括支援センターと居宅介護支援事業者双方の負担軽減が図られ、また居宅介護支援事業者が指定を受けられる環境の整備を進める。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議から見えてきた地域課題が、区への政策提言につながるとよい。また、地域づくりや資源開発について、気軽に意見を出せるような仕組みを作ってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題についても、地域ケア会議などの会議体で、意見が政策提言につなげていけるよう引き続き取り組んでいく。</li> <li>・令和6年度から、各地域包括支援センターに生活支援コーディネーターを配置する。地域で活動している団体や、地域密着型サービスの介護事業所等とも連携しながら地域づくりに取り組んでいく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託された困難ケースや相談したケースのフォローが不十分に感じる。業務量が多いのか、連絡が遅い、包括内・包括間での引継ぎがされていないことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度から、各地域包括支援センターに生活支援コーディネーターを配置し、相談支援体制を強化する。これにより、包括内、包括間の連携をより密にしていく。</li> </ul>

## 3 集計結果概要

別紙のとおり